

## □ 「みんなで学ぶネットモラル」の活用～県立学校での取組～

人権学習教材「わたし かがやくーみんなで学ぶネットモラル」は、2008(平成20)年11月の発行後、県内各学校における人権学習等の取組にご活用いただいております。

教材の中でも記されているように、インターネット利用は、高校生になるにつれて多くなっています。また、小・中学生では、パソコンでの利用の方が多いのに対して、高校生では、携帯電話での利用の方が多くなっています。



このような状況をふまえ、県立久居農林高等学校(2学年)では、教職員研修を通して生徒や学校の実態に応じたネットモラルに係わる学習内容が計画され、「みんなで学ぶネットモラルー中学・高校生版」を活用した人権学習が取り組まれました。

### ◇ 学習をふり返ってー生徒の感想

- インターネットは便利だけど、話し方のイントネーションや感情等を感じ取るのが、すごく難しい。また、顔が見えていないことで強気になって、容易に悪口を書き込めてしまうので、怖いと思う。掲示板の本来の使用目的を取り違えないようにしたい。
- 携帯電話では、自分の気持ちがなかなか伝わらないと思った。文字だけだから、その一つひとつが重たく感じられる。特に掲示板での書き込みは、多くの人が見ているということを考え、責任感を持たないといけないと思う。裏サイトは、つくる人がいけないと思うが、書き込みをしている人も、見ている人も悪い。もう少し考えて行動していきたい。
- 今回の授業で、改めて相手への心づかい等を勉強できました。私は、小学校の時からケータイを持っていて、問題点をあまり感じていなかったけれど、勉強できて良かった。特に、掲示板を見回っている方の存在を知ることができて、心強かった。勉強できたことを生かして、今度からケータイを使いたいと思います。

- 携帯電話での事件があることを改めて学びました。普段、普通に携帯電話を使っているけど、その中で、事例のような書き込みもあるかもしれないとふり返りました。ブログでの書き込みも、気をつけて書かなくてはいけないと思ったし、私は普通にメールを打っているが、相手を嫌な気持ちにさせてしまっているのかもしれないと考えると、気をつけなくてはダメなんだと改めて思いました。とても良い授業でした。
- 現在、ネットワークはとても広がっていて、利用者も多い。その中で中傷やいじめをしているのは、それこそ、やってはいけないことだと思う。相手の顔が見えないから、言いたいことを言うのは楽であるが、言われた方は、どんな人に言われているかさえ分からないから、それだけで不安になったり、引きこもったりしてしまう。もし、やっている人が同じことをされたら、被害者と同じ気持ちになるだろう。言いたいことがあったら、面と向かって言える。そんな人との関係が増えたら、こんな問題はなくなっていくと思う。



#### ◇ 授業をふり返って－教職員の感想

- 私たち年長者にとって未知の分野であるネットの世界ということで、正直、できることなら触れたくない分野でした。しかし、事前に行った教職員研修では、実際に生徒にどう問題を投げかけ、どう進めていくのかを具体的、体験的に理解することができ、自らの取組に自信を得ました。今回活用した「みんなで学ぶネットモラル」は、生徒への意識づけから展開まで、非常にうまく構成されており、実際のホームルームでも、すんなりと生徒の意識をネットモラルの世界へ導くことができたと感じます。授業では、生徒から活発に意見が出ました。それほど、生徒にとってネットの世界は、身近なものであり、関心の高いものなのだと改めて感じました。また、高校生になって初めて携帯電話を手にする生徒が半数以上いる中で、インターネットと人権について考える機会をもつことは、ぜひとも必要なことだと感じました。



- 携帯電話の利用状況については、教材にあったAさんの事例を自分のこととして置き換え、いろいろと意見が出ました。また、メールの事例をとおしては、感情が伝えにくいということをもふまえ、実際に自分たちはどうするかということをしたためながら、コミュニケーションをとることの難しさや相手に誤解を受けやすい危険性等を学習していきました。授業の課題としては、これまでにどのようなトラブルや困ったことがあったかについて、もう少し詳しく聴くべきであったこと、それらへの対応についても、じっくりと話し合う時間を設定すべきであったこと等が挙げられます。
  
- インターネットは本当に便利なものと、パソコンを使い始めてからずっと思いついてきた。ネチケットというものを知り、ある程度のマナーも身につけてきたつもりだった。しかし、授業をとおして、自らの知識や認識以上に、インターネット上では、子どもたちや私たちの生活を脅かすようなことがたくさんあることを再確認した。学校裏サイトや掲示板では、好き放題、思い放題のことが書かれている。その中で、生徒たちは、書いてあることを気にして日々を過ごさなければいけない。余計な気を遣わなければいけない。このことを考えると、非常に辛い。教材の中で印象深いのは、「生徒会長に立候補したいが、掲示板に書かれてしまっているのではないかと不安で立候補を迷っている」という生徒の姿である。インターネット上の誹謗中傷が、やりたいと思うことさえも阻害してしまっているという現状をふまえれば、私たち教職員が少しでも生徒が安心できるようにしていかなければならないと、使命感がこみ上げてきた。「自分は一人ではない。必ず仲間がいる」ということに気づかせてあげたい。そんな気持ちが、胸の中いっぱい広がった。